

議会で取り上げ実現できた実績です！！

●春バスが駅の東西を循環します！

10月21日から、毎週日曜日に走ります。

クレヨンしんちゃんのマッピングバスが春日部駅の西口・東口を行ったり来たりします。

ララ・ガーデンや旧商工振興センター跡地付近などを1時間おきに走ります。



※平成18年12月議会で取り上げました。

●打ち水キャンペーン実施しました。

「大暑」にあたる7月23日市役所入口付近で、民間団体の協力の下、打ち水キャンペーンを実施しました。



※平成21年6月議会で取り上げました。

公明党では無料の法律相談を行なっております

お申し込み・ご相談・ご要望は

090-3476-6526

くりばらまで



いつも全力！！ 春日部に希望を！

春日部市議会議員くりばら信司



詳細はwebへ

くりばら通信



ゆるキャラ・グランプリ(応募は11月9日まで)

公明党公認キャラクター兼大使の「コメ助」は、自治体や企業のマスコットキャラクターの人気を競う「ゆるキャラグランプリ2018」にエントリーしています。



←①ID登録



②投票サイト→



平成30年9月定例議会での一般質問より

問 公共施設で避難訓練の実施を！

市内には様々な施設があります。災害が激増する中で、いざという時の備えは重要です。公民館など不特定多数の市民が交流する機会が多い施設での避難訓練は重要と訴えました。

答

市民文化会館では「危機対応マニュアル」を作成、対応しているが、今後は現在の対応に加え、災害時等の避難誘導の手順、保安要員の役割等について簡易化したマニュアルを施設利用者に配布、説明し、万が一の事態に備えていくようにします。

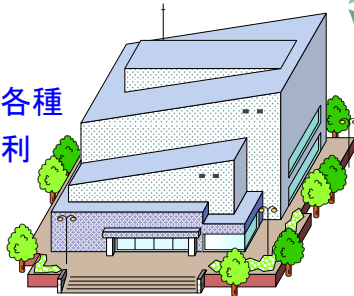


問 市民文化で避難訓練コンサートを！

市民文化会館のような収容人数の多い施設では、利用者の環境、例えば年齢、性別など体力、対応力に差もあることから、日頃の訓練で、避難時の課題などを探ることは大切です。そこで、全国的にも好評な避難訓練コンサートを実施すべきと訴えました。

答

今後、社会教育団体など利用する各種団体と連携・協力のもと、多くの利用者が参加した避難訓練が実施出来ないものか検討します。



問 ポケベルの周波数で防災ラジオ

かつてない規模、発生頻度で次々と起こる災害に対して、情報手段の確保は重要です。そこで、かつて流行したポケベルの周波数帯を活用することも検討すべきではと訴えました。

答

情報通信技術の発展とともに様々なツールが開発されることから、今後も新しい伝達手段の動向を注視していきます。



問 解体される公共施設で救助訓練を

長期にわたり、市民の為に働いてきた公共施設が、その使命を終える最後の取組として、解体現場を活用した救助訓練は日常の訓練とは違う、得がたい財産になるのでは、と訴えました。

答

旧市立病院など訓練が可能な施設は内容を精査し、訓練できるように関係部局と調整します。



問 ヒートアイランド対策を！

打ち水キャンペーンを継続実施で市民、企業団体の意識啓発を図るべき。またバス停など不特定の市民が利用する場所にミストシャワーの設置をと訴えました。

答

民間団体などとネットワークを作り、広がりのある取組としていきます。

